

イ、情報交換は班別とし、話し合いを行なった。

”

大戸 和美

ウ、講演

”

遠藤 一明

㊦ 講演 「青春に生きる」

郡山市教育委員会教育長 堀内 鉄雄

㊧ 講師 演劇評論家 栗原一登氏

郡山市教育委員会社会教育課課長 久保田 敦

エ、全体討議

郡山市教育委員会社会教育課指導係長 橋本 弘一

㊦ 「未来と私たち」についてについてシンポジウム

(10) 内容

形式により討議がすすめられた。

① 受講体験発表

㊧ 登壇者(学級生代表)

② 講演

③ 各課程面接指導講義・実習・相談

(7) 効果

(11) 効果

全国の勤労青年が御殿場に集まり今後、何を、どのように学習すべきかについて、2泊3日の研修を実施し、地域における青年学級の振興の問題について話合ったことは非常に効果的であった。

県内受講生は約8千人をかぞえ年1千人程度ずつ増加しており、個人学習への風潮の高まりが見られる。本集会への参加者はとくに熱心であり県内各地から参加した。面接指導、相談も、各講師の積極的指導により適切に行なわれた。また、文部省委嘱「伸びゆく社会通信教育展」の開催中、同地で開催したことは社会通信教育普及上成果があったものと思われる。

霊峰富士の山麓での研修は、全国から参集した学級生に深い感銘をあたえたことであろう。

14 社会通信教育研究集会

15. 高等学校開放講座

(1) 趣旨

(1) 趣旨

県内の受講生が一堂に会し、学習方法や体験などを話し合い、相互に激励し学習意欲を高めるための機会と場を提供し、もって本県社会通信教育の振興をはかる。

高等学校の教育機能を社会教育面に活用し、一般成人に対して科学技術の発達、生活構造の変化等 最近における社会の急速な進展に応じて必要な生活上、職業上の専門的な知識・技能および一般教養を身につけさせることを目的とする。

(2) 主催

福島県教育委員会、郡山市教育委員会

(2) 委嘱方針

(3) 後援

財団法人社会通信教育協会

① 対象 県立高等学校

(4) 期日

昭和45年10月18日(日)

② 参加者 一般成人、およそ40人以上

(5) 会場

福島県立郡山工業高等学校

③ 内容 住民の学習要望に応じ、それぞれの教育機関の特性をいかした専門的内容により30時以上実施すること。

(6) 参加者

- ① 県内社会通信教育受講生
- ② 市町村教育委員会社会通信教育担当者(計250名)

(3) 昭和45年度県教育委員会委嘱高等学校開放講座

(7) 講師

福島県立郡山工業高等学校長

委嘱高等学校	講座名	参加人数	開講期日
会津農村高等学校	近代的農業経営講座	人 36	年月日 日 45.10.26~ 10.30
猪苗代高等学校	主婦のための一般教養講座	74	45.9.26~46.3.13
坂下高等学校	商工婦人一般教養講座	50	45.10.18~46.2.21

(8) 面接講座・実施団体講師

講座名	実施団体	面接講師
孔版講座	実務教育研究所	高橋 靖夫
簿記講座	日本通信教育学院	高田 聡
速記講座	早稲田速記普及協会	栗城 正義
建築士講座	日本建築技術者指導センター	加藤 齊三
書道ペン講座	日本書道教育協会	網代 澄亭
英語講座	日本英語教育協会	小川 武二
保育講座	日本学芸協会	大戸美也子
ラジオ工学講座	ラジオ教育研究所	箕輪 要
テレビ技術講座	”	矢次 健次
レタリング講座	日本通信美術学園	湯浅 恭璋
”	”	戸崎 茂

なお、このほか、県教育委員会が文部省から委嘱をうけ、実施した高等学校開放講座は次の通りである。

実施高等学校	講座名	参加人数	開講期日
相馬農業高等学校	農業経営講座	31	年月日 日 45.12.6~17
小野高等学校	地域開発農業講座	170	45.12.19~22
岩瀬農業高等学校	食品加工講座	70	46.1.8~14
東白川農商高等学校	高等農民講座	211	46.1.11~14
福島農蚕高等学校	大型農業機械講座	30	46.2.10~19

(9) 助言者

福島県教育庁社会教育課課長 大越源三郎
 福島県教育庁社会教育課社会教育主事 鈴木 兵威
 ” 折笠 常弘
 福島県教育庁県中教育事務所所長 遠藤 伊雄
 福島県教育庁県中教育事務所社 教育主事 増子 銀司
 ” 佐藤 二郎

(4) 効果

本年はとくに婦人の学習意欲の盛り上がりがあって、猪苗代町、会津坂下町では、地域の協力のもとに開講したところ、好評を博し再開を望んでおり、他の講座においても高校の地域における社会教育的役割が認識されるとともに多くの成果を上げ、将来への期待も寄せられ、成人教育振興上、大きな成果を上げたものと思料される。